

京都市バイオマス産業都市構想の概要

京都府京都市、人口約147.4万人、面積約8.3万ha

構想の概要

豊かな森林資源、伝統文化、進取の気性など、京都のまちがもつ「市民力」や「地域力」を結集し、「自然環境と共生してきた文化、こころ」を大切にしながら、バイオマスの活用を積極的に推し進め、「環境にやさしく災害に強い低炭素社会・循環型社会」の構築を目指す。

1. 将来像

- ① 農林業の振興と北部山間地域の活性化
- ② 都市部のバイオマスの有効利用
- ③ 先端技術を活用した廃棄物系バイオマスのエネルギー利用

2. 事業化プロジェクト

- ① 食の循環プロジェクト
- ② バイオガスプロジェクト
- ③ 下水バイオマス活用プロジェクト
- ④ せん定枝の分別・リサイクルプロジェクト
- ⑤ 「都市油田」発掘プロジェクト
- ⑥ バイオディーゼル燃料プロジェクト
- ⑦ 森林バイオマス活用プロジェクト
- ⑧ 先端技術連携プロジェクト

3. 目標(10年後)

京都市内に存在するバイオマスの利用の度合いを示す「バイオマスの総利用率」を、平成26年度の49%から平成32年度には55%まで高める(京都市バイオマス活用推進計画の目標達成に向け、具体的に事業を推進)

4. 地域波及効果

- ① バイオマスエネルギー利用による化石燃料代替量の増加(平成32年度)
電気:約6,000 MWh/年 熱:約144,000 GJ/年
- ② 廃棄物焼却の削減(平成32年度) 約16,000t/年
- ③ 間伐材利用量の増加(平成32年度) 約4,000t/年
- ④ 売上及び歳入の増加(平成29~32年度) 約7億円

5. 実施体制

- ・各事業化プロジェクトは、本市及び民間事業者等の実施主体が中心となって行う。
- ・本市が各プロジェクト事業の進捗状況をヒアリング調査し、必要に応じて京都市環境審議会等に報告するとともに、意見や助言を受けて事業推進に活かす。

6. その他

「京都市基本構想」、「京都市地球温暖化対策計画」、「京都市エネルギー政策推進のための戦略」、「京都市循環型社会推進基本計画」に基づく実施プログラムとして、バイオマス産業都市の実現を目指す。

京都市バイオマス産業都市構想

A 農林業の振興と北部山間地域の活性化



《観光業界、大学等との連携》

B 都市部のバイオマスの有効利用



事業系の紙ごみ・生ごみ

⑤ 「都市油田」発掘プロジェクト



エタノール
(化学原料・輸送用燃料での利用)

② バイオガスプロジェクト



売電

⑥ バイオディーゼル燃料プロジェクト



③ 下水バイオマス活用プロジェクト



C 先端技術を活用した廃棄物系バイオマスのエネルギー利用